



あけまして
おめでとう
おめでとう



21号の主な内容

新春対談	2
新年のご挨拶	3
女性部会員の活躍	3
救命講習会	4
つくばエキスポセンター	5
ボランティアインストラクター	6
剪定・草刈班がゆく	7
くきざき夢まつり	7
付記	8
ご案内	8

〈新春対談〉

地域や市民に

今年も役立ちます

対談

五十嵐立青市長・橋本憲明理事長

〈橋本理事長〉 あけましておめでとう
ございます。日頃から多大な協力並
びにご支援をいただいておりますこ
と、厚くお礼申し上げます。

シルバー人材センターの役割とし
て、次世代へつなぐ役割を行ない、高
齢者が働ける環境づくりや、技術を向
上させ、地域に貢献することで、高齢
者の生きがい対策に繋がりたいと考
えています。

健全で安定的な運営のために財政基
盤の強化を図ることは、早期に達成し
たい課題です。平成29年度上半期の事
業実績は収入金額173百万円、受注
割合は民間45%、一般家庭27%、公共
25%、独自事業3%で前年度をやや上
回っています。独自事業のリサイクル
自転車事業は地道に真剣に取り組む作
業ぶりが評価され筑波大学構内「グ
ローバルヴィレッジ」の一部に新店舗
をオープンし新たな展開を行なってい
ます。また、子育て支援事業は市民に



右側が五十嵐立青市長、左側が橋本憲明理事長

浸透してきており一時預かり人数も確
実に増えてきています。超高齢化の波
はセンターにも押し寄せてきており、
会員の年齢層も上昇してきています。
市民に喜んでいただけるよう、新たな
年を迎え一層気を引き締めていかな
ければと感じています。

〈五十嵐市長〉 シルバー人材センター
の皆さんには、日頃から市民生活に密
着した素晴らしい活動をしていただい
ており感謝しています。子育て支援事
業で若いお母さんが安心できるような

アドバイスをいただいたり、筑波大学
内で自転車を修理してリサイクル販売
することで学生の皆さんも経済的に助
かったりと、きめ細かい活動が市民に
とって大きな助けになっていると思
います。行政でそういったことを全部や
ろうとしてもそれは不可能ですので、
かゆいところに手が届く皆さんの活動
はなくてはならないものです。

一方で、入会される方がすこし減つ
ているのはちょっと心配ですね。入会
説明会の案内を「広報つくば」に掲載
したことで、多くの方が来られたとい
うことを伺いましたので、そうした協
力はもちろんこれからもできればと思
います。

行政にとって、シルバーの皆さんは
とても心強いパートナーです。新年度
も意見交換をしながら、つくばの発展
のために一緒に活動をさせていただき
たいと思います。引き続きよろしくお
願います。

〈橋本理事長〉 本日はお忙しいところ
時間を割いていただきまして誠にあり
がとうございました。今後とも市民の
皆さまに喜んでいただき、お役に立
てるようなシルバー人材センターであ
りたいと思います。

〈新年のご挨拶〉

新年明けましておめでとうございませう。皆さまにおかれましては健やかに新年を迎えられたことと思います。正月も休みなく就業されていた方もおりました。お疲れ様です。昨年11月つくば市は市制施行30周年を迎え、私もその記念式典に参列いたしました。昨年には圏央道の県内区間が全線開通、流通や観光など経済活動が大きく変わることを思います。

つくば市シルバー人材センターは、一昨年25周年を迎え、約700人の会員と3・5億円の事業収入のある組織に成長しました。平成24年公益社団法人に移行し5周年を迎えました。当センターは県内の中心的役割を果たすつくば市に於いて社会貢献などお手伝いできること、チャレンジすることはまだまだあります。当センターの会員は一人ひとりが経営者であり働き手でもあります。その自覚を持ち、今年も心に「ゆとり」を持って就業に、社会貢献に活躍されることをお祈りいたします。

平成30年1月吉日

つくば市シルバー人材センター

理事長 橋本憲明

〈女性部会員の活躍〉

学校訪問、要小学校

この春に女性部会のメンバーが手作りした「巾着の給食セット」を贈った市内大穂地区（筑波記念病院の近く）にある「要小学校、新一年生の子どもたち」を給食時に訪問しました。校門をくぐると子どもたちの元気な歓声が聞こえてきます。

12時 校長先生との面会。「学校では共稼ぎの家庭が多いのでとてもありがたいです。子どもたちは給食セットを大切に使用させていただいています。」



昔話をしているのかな

廊下の掲示板には、4月15日発行シルバー人材センターの広報誌「きずな」の給食セット贈呈の記事が赤枠で強調されて張り出されていました。

12時20分 教頭先生の案内で一年生の教室に。子どもたちの一番楽しみにしている給食タイム。美味しそうな匂いながら、大きめのミートボール・サラダ、ご飯を嬉しそうに食べていました。机の脇には子どもたちの光景を見守るように、巾着袋がちゃんと掛けてありました。

12時30分 食事中ちよつと時間を頂



食事中です



吊り下げられている「巾着」

き、シルバー人材センター広報部員からサプライズの昔話「おいしいお粥」を語りました。森に出かけて行った女の子。森の中で一人のお婆さんから不思議なお鍋を貰って帰りました。美味しいお粥はある時とんでもないことに・・・昔話の語りにも子どもたちは真剣な表情で聞き入っていました。

12時35分 お話の後は、可愛い子どもたちの班を回ってお喋りタイム。家族の事・楽しかった夏休みの事・いろんな話が飛び出して、訪問した私たちも元気でかわいい笑顔に触れる事ができました。要小学校の校長先生をはじめ職員の皆さま、本当にありがとうございました。

〈救命講習会〉

救命処置とAED

いざという時に居あわせた人たちが応急手当し重篤な場合は救急処置といえます。を知っていれば、心臓や呼吸が止まったなど困難におちいった人の命を救い、生存率や社会復帰率を高めることができるようになるかもしれません。つくば市シルバー人材センターでは、平成29年11月30日、シルバーの会員が救命処置の知識と必要な機器の操作を学ぶために、普通救命講習会(成人向け)を開きました。内容は、心肺蘇生法・AED・止血法・異物除去で構成され、つくば北消防署署員が講師として、またAEDの操作などではつくば消防団のみなさん(女性)により教えていただきました。

読者のみなさんは、公共施設や人が集まる場所に設置されている赤いAED(自動体外式除細動器)心臓に電気ショックを与える)を見かけると思いますが、その操作をご存知の方はそれほど多くはないと思います。一刻を争う状況の心肺停止では、心停止の早期認識と通報(119番)、同時に心臓マッサージを救急車が着くまで絶



心臓マッサージ、かなり強く押します

対に休みなく続けること、AEDを速やかに使用することがたいせつです。救急車の到着まで平均九分はかかるそうです。その間の処置が生死の境目となります。みなさんも、市や団地の自治会などで行う救命講習会に、ぜひご参加ください。

「つくばエキスポセンター」 「ワクワク科学体験と星空」

つくば市といえば、科学研究都市とか教育のイメージが浮かびますが、科学探求の手助けとなるような施設として、かねてから取り上げたいと思っていたのが、「つくばエキスポセンター」。どこからでも見える実物大のH-IIロケットが目印で、近くには銀色に輝くひときわ大きな25・6mもの巨大プラネタリウムのドームが、宇宙への夢をかき立ててくれるのです。

ここエキスポセンターは、一九八五年の国際科学技術博覧会（科学万博）を記念して、第二会場を青少年向けに科学普及を目的とする科学館として、発展の道を歩んできました。子どももおとなも体験しながら科学の夢を育ててくれる科学館として、大切な存在となつていきます。ちなみにつくば市シルバー人材センターの会員が四名、就業のお世話になつているところでもあります。

ここでは何と言っても世界最大級のプラネタリウムでしょう。四季・歴史・物語・宇宙のできごとなどを組み込みながら、スタッフが独自のプログラム

を作成して、楽しいものに仕上げています。映像の性能を発揮させているのが、世界に誇る日本の技術で作られたコニカミノルタ製投影機です。展示場は二ヶ所に分かれ、一階はエネルギーゾーンやおもしろサイエンスゾーンなど、二階には「夢への挑戦」として、宇宙、環境、生命、超、ナノの5つのゾーンなど、見て・触つて・楽しんで・体験できるところになっています。展示場では、実際に科学分野の仕事や研



外観 写真提供（公財）つくば科学万博記念財団

究に経験があるボランティアインストラクターのみなさんに、やり方や疑問などを答えてもらえるのです。今夏は南極特集を組み、雪上車が屋外に展示されています。天体観望会や星空コンサートなども企画されています。

さて今年から一般の市民向けに企画されたのが「おとなのためのサイエンス講座」です。理数系が苦手な文系の記者も一念発起して、数あるテーマのうち、「ジオパークの地質学」（5



プラネタリウム 写真提供（公財）つくば科学万博記念財団



「夢への挑戦」がテーマの2階展示場

月)「やさしい原子核エネルギーの話」(8月)、「実感!放射線と理論と実践」(12月~1月)を受講しました。講師陣には筑波大の教授など、かなりレベルの高い内容となっており、これまで知らなかったことをいま教えられて、目からウロコの思いがします。科学を楽しむ気もちがあれば、どうも年齢は関係なさそうです。

学分野の技術者だった同氏は、つくば市シルバー人材センターに入会後、その経験を生かして、吾妻東児童館などで理科の出前講座を行っています。またエキスポセンターで二十四人登録されているボランティアインストラクター



ボランティアインストラクターの加地浩成さん

取材当日に1階の実験コーナーでお目にかかったのが、加地浩成さん。化

「ボランティアインストラクター」子どもたちに未来の科学の芽を

公益財団法人つくば科学万博記念財団

住所：つくば市吾妻 2-9
 電話：029-858-1100 FAX：029-858-1107
<http://www.expocenter.or.jp>
 休館：毎週月曜日（祝日の場合は翌日休み）、年末年始、臨時休業あり
 入館券：(展示場のみ)
 こども 210 円、おとな 410 円
 (プラネタリウム券)
 こども 410 円、おとな 820 円
 アクセス：TX つくば駅 A2 出口より徒歩 5 分
 土日祝日は、つくば駅よりつくばサイエンスツアーバス循環バスあり

ターの一人として、実験工作を子どもたちに教える一方、エキスポ側からの依頼により、サイエンスインストラクターとして、小学校や児童館などで科学実験工作をおこなっているそうです。インストラクターの役割とは、子どもたちに、科学の楽しさを伝えて、科学に興味をもって将来その道を歩んでもらえる手助けになれば良いと語り、やりがいのある活動ですと切った加地さんです。記者には、このインストラクターのみなさんには、今後もぜひ続けていただきたい大切な仕事だと思えました。



子どもたちに大人気！1階の楽しい科学体験相談コーナー

剪定・草刈班がゆく

希望者、募集中!

10月下旬、豊里地区にある皆畑公園において29年度「草刈技能実技講習会」が行われました。理事長から開催の挨拶があり「誰が見ても安心して見られる草刈りを心がけてください」、安全委員長からも安全な作業を実行するように講話があり、実技講習会と実技検定がスタートしました。まずは安全が最優先です。刈り払いは高速回転している鋭利なノコギリ状の刈り歯で作業しますので、安全に作業をしなければなりません。ひとつ間違えれば大けが、最悪は命にかかわります。全国では毎年、草刈りの作業中に近



草刈り中の女性会員



良い例、悪い例を模範実技で講習します（後方は筑波山）



ウワー！ 見てられると緊張します

くの人を切ってしまった痛ましい事故が報告されています。安全な作業の仕方、安全な服装などがしっかり講習されます。

草刈作業に従事している受講する参加員が多いので、午前の部と午後の部と分けて実行されました。

公園の草刈作業のように草刈りが中心というものがありません。また、剪定作業を行う前、樹木の周りの雑草が多く剪定枝を片付けするのに邪魔な場合、草刈作業を行って綺麗にしてから剪定を行います。今年の講習会には女性会員が参加しました。もっと増える会員は「第一に安全、第二も安全」を実行してください。

くきざきまつり

茎崎地区

「くきざきまつり」とは、市のバックアップの下、茎崎地区住民の交流を深めるために、毎年秋にくきざき運動公園で地区住民が楽しく集うお祭りです。

勤労感謝の日11月23日（木）、よくよく雨に好かれたお祭りです。台風21号が過ぎ去って好天が続いていましたが、前夜から雨がとうとう降り出してしまいました。雨天決行、雨が降ってもお祭りは実行されます。テレビの気象予報では雨は午前中に上がり、午後は曇りです。これに期待してシルバー人材センター出店の準備に入ります。朝早く、



祭りは雨の中でスタートしました

軽トラックに手作りの小物やテーブル、椅子を満載し運び込みました。毎年センターのPRを兼ねて参加していますので手慣れたものです。段ボール箱から販売する小物を出して並べていきます。

雨模様でお祭りにやって来る市民の出足も遅れがちですが、人気のある手作りグッズが次々と売れていきます。

このグッズは小物造りのグループ「芙蓉の会」の女性たちがおしゃべりを楽しみながら制作したものです。端切れの布や毛糸、綿などを購入しストックしておき利用します。特に気をつけていることは、クリスマス壁飾り用の端切れはこの時期しか出回りませんので絶対に買い逃せません。縫いぐるみの干支の戌（イヌ）に詰め込む綿は、牛久市国道6号線沿いの布団屋さんのご協力に分けていただいているので、端切れならぬ端綿というのでしょうか「お礼申し上げます」と、会の代表が語っていました。グッズは種類が豊富で色とりどりの綺麗な布草履、毛糸のネットウオーマー、ペットボトル入れ、パソコンで制作した力作のカレンダー、干支の戌の縫いぐるみなどです。藍染の正絹で制作した飾り物の「干支の戌」は芸術作品ともいえるでしょう。



人気の布草履です

お昼ごろ雨がやると止んで待ちかねていた太陽が顔を出し、市民もそろそろ出だしたようブースを訪れるお客さまが多くなりました。やはりお祭りには太陽が似合うようです。また来年もシルバー人材センターのPRと「芙蓉の会」の皆さんが制作した小物を出店することでしょう。

付記

表紙は、干支の戌（犬）ですが、荃崎地区の「芙蓉の会」の皆さんが制作したものです。左下は、昨年十月半ばに市内の公園を散歩中に見かけたキノコの群れです。針葉樹の根の先にそつ

て、行儀よく並んで生えていた姿が可愛らしく、持っていたデジカメでとった写真です。調べたところ、「イボテンゲタケ」にはほぼ間違いないとわかりましたが、数日後にはいつの間にか消えてしまいました。

ご案内

入会説明会は次の通り行ないます。入会をご希望の方は、直接説明会会場にお越しください。お問い合わせは、電話で受け付けております。ホームページにも掲載しております。

開催月日	時間	会場
2月8日(木)・3月8日(木)	午後 1時30分	シルバー人材センター会議室 (大穂庁舎3階会議室)
4月12日(木)・5月10日(木)		
6月14日(木)・7月12日(木)		荃崎交流センター 研修室
2月1日(木)		

◆きずな原稿募集
「きずな」の原稿を随時募集しています。就業先での出来事や体験談、身近な出来事等々、お待ちしています。投稿いただきました原稿を掲載した場合、些少ではありますが掲載謝礼をご用意いたします。